

2016年10月07日

ベッドが車いすに分離する介護ロボット

離床アシストロボット「リショーネPlus(プラス)」を発売

重介護度の方の離床を促し、介護スタッフの負担を軽減



【離床アシストロボット「リショーネPlus」(車いすの状態)】



【使用イメージ】



【ベッドの状態】



【分離状態】

品名	離床アシストロボット「リショーネPlus(プラス)」
品番	XPN-S10601
本体セット内容	本体(ベッド+車いす)木調ボード、ボックスシート(2枚1セット) マットレス(防水カバー仕様)充電器、車いす用バッテリーキット、車いす用ヘッドレスト
サイズ	全長 2,075mm 全幅 1,009mm(車いす合体時)全高799~1,079mm
希望小売価格	90万円(税抜・配送・組み立て費用別)
発売日	2017年1月(予定)
販売目標	500台/年(2017年度)

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 エイジフリービジネスユニット傘下のパナソニック エイジフリー株式会社は、離床アシストロボット「リショーネPlus(プラス)」を、特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホームなどの高齢者施設向けに2017年1月より発売する予定です。本製品は、ベッドが車いすに分離して、重介護度の方の離床を促し、介護スタッフの負担を軽減する介護ロボットです。

介護の現場では、ベッドから車いすなどへの移乗時における事故のリスクや、介護スタッフの腰痛が課題になっているため、持ち上げない介護への期待が多くあります。また、介護される方の生活意欲の維持・向上への課題も多くあります。パナソニックは、現場ニーズが非常に高い移乗支援に焦点を絞り、介護ロボットを開発し、商品化を推進してきました。

パナソニックは、2014年2月にパーソナルケアロボット(生活支援ロボット)の安全性に関する国際規格ISO13482認証を世界で初めて取得し、離床アシストベッド「リショーネ」として、2014年6月より高齢者施設などに向けて発売しました。今回、介護事業を担うパナソニック エイジ

フリー株式会社が介護用ベッドで培った技術を応用し、利用者の声を反映して、利便性、安全性、デザイン性を向上させ、離床アシストロボット「リショーネPlus」として発売します。

従来の「リショーネ」は車いすの配置は右側に限定されていたため、部屋の間取りによっては使用しづらいことがありました。新製品では、組み立て時に車いすの配置を左右から選べ、間取りに合わせやすくなりました。また、カバー付きアームレストや、背足が連動する電動リクライニングなど、安全性・快適性に配慮。さらに、操作器を改良し、音声ガイドと液晶表示で車いすの分離・合体操作を案内。初めて使用する方でも、一人で簡単に操作できます。

なお、本製品を第43回国際福祉機器展「H.C.R.2016」(会期:2016年10月12日(水)～14日(金) 会場:東京ビッグサイト)および、第1回 CareTEX関西2016(会期:2016年12月7日(水)～9日(金)会場:インテックス大阪)に出展します。

<特長>

1. ベッドが車いすに分離。組み立て時に車いすの配置の左右選定が可能になり、利便性が向上
2. カバー付きアームレストや、背足が連動する電動リクライニングなど、安全性・快適性に配慮
3. 音声ガイドと液晶表示で操作性が向上。見やすく、持ちやすい操作器など、デザイン性も向上

【お問い合わせ先】

パナソニック エイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部
電話:0120-365887 (平日 9:00～17:30)

【離床アシストロボット「リショーネPlus」の特長】

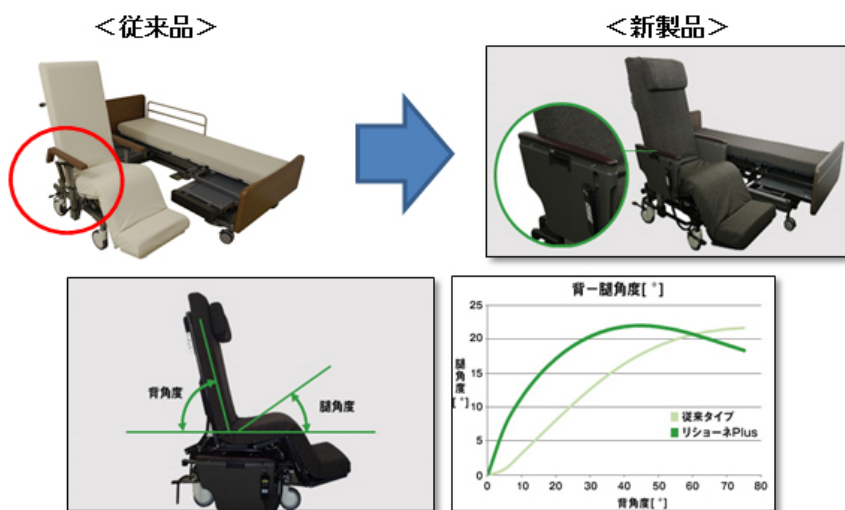
(1) ベッドが車いすに分離。組み立て時に車いすの配置の左右選定が可能になり、利便性が向上

従来の「リショーネ」は、車いすの配置が右側に限定されていたため、部屋の間取りによっては使用しづらいことがありました。新製品ではモジュール型設計とすることで、組み立て時に車いすの配置を左右選ぶことができ、利便性が向上しました。



(2) カバー付きアームレストや、背足が連動する電動リクライニングなど、安全性・快適性に配慮

アームレストを従来のT字型から大きなカバー付アームレストに変更。さらに、電動リクライニングも背中と足が上がるタイミングを調整し、座位の状態にする際のズレや圧迫を低減するなど、安全性・快適性に配慮しました。



(3) 音声ガイドと液晶表示で操作性が向上。見やすく、持ちやすい操作器など、デザイン性も向上

操作器を改良し、音声ガイドと液晶表示で車いすの分離・合体操作を案内するため、初めて使用する方でも、一人で簡単に操作できます。また、操作器の形状も、手・指になじむユニバーサルデザインの形状となっています。

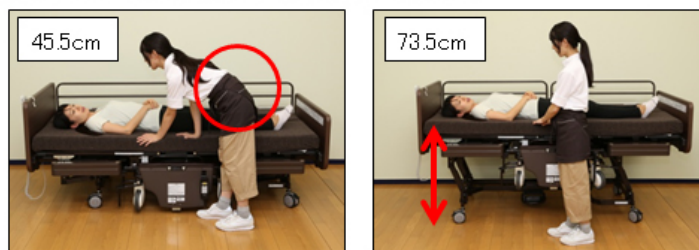


<ご参考>

【ベッド機能】

・介護しやすい高さ調節

ボトム高さ45.5～73.5cmで、腰を曲げずに介護可能。



・背上げ・足上げ動作で姿勢が安定

ベッドとしての基本機能である、背上げ、足上げを完備



背上げ角度: 0～70度
足上げ角度: 0～28度

【車いす機能】

・安定した走行操作

ご利用者が重くても押しやすいよう、手押しハンドルは水平バー形状とし、力が入りやすく、操作が安定。



・簡単操作の全輪ロック

容易な全輪ロック(前2輪、後2輪ずつ)で、停止状態も安定します。



・車いす用操作器

車いす状態でのリクライニングは、ベッドから離れても上げ下げ自由。(バッテリーを搭載)



バッテリー充電は週に1～2回(目安)
(1日3回のリクライニング使用を想定。
約8時間/回で充電完了)

【分離する操作手順】



ベッドの
操作器

- ・外側のアームレストを上げる
- ・ベッドの操作器の分離ボタンを押す(長押し)
- ・ベッドを分離させる(途中でロックがかかる)
- ・内側のアームレストをあげる



- ・外側のアームレストを引き、車いす部
をベッドから完全に分離させる



車いす用
操作器

- ・車いすのキャスターをロックする(2カ所)
- ・車いす用操作器で、座位の状態にする



- ・姿勢を調整して車いすが完成
- ・手押しハンドルを出し、キャスターの
ロックを解除(2カ所)
- ・車いすで移動

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。